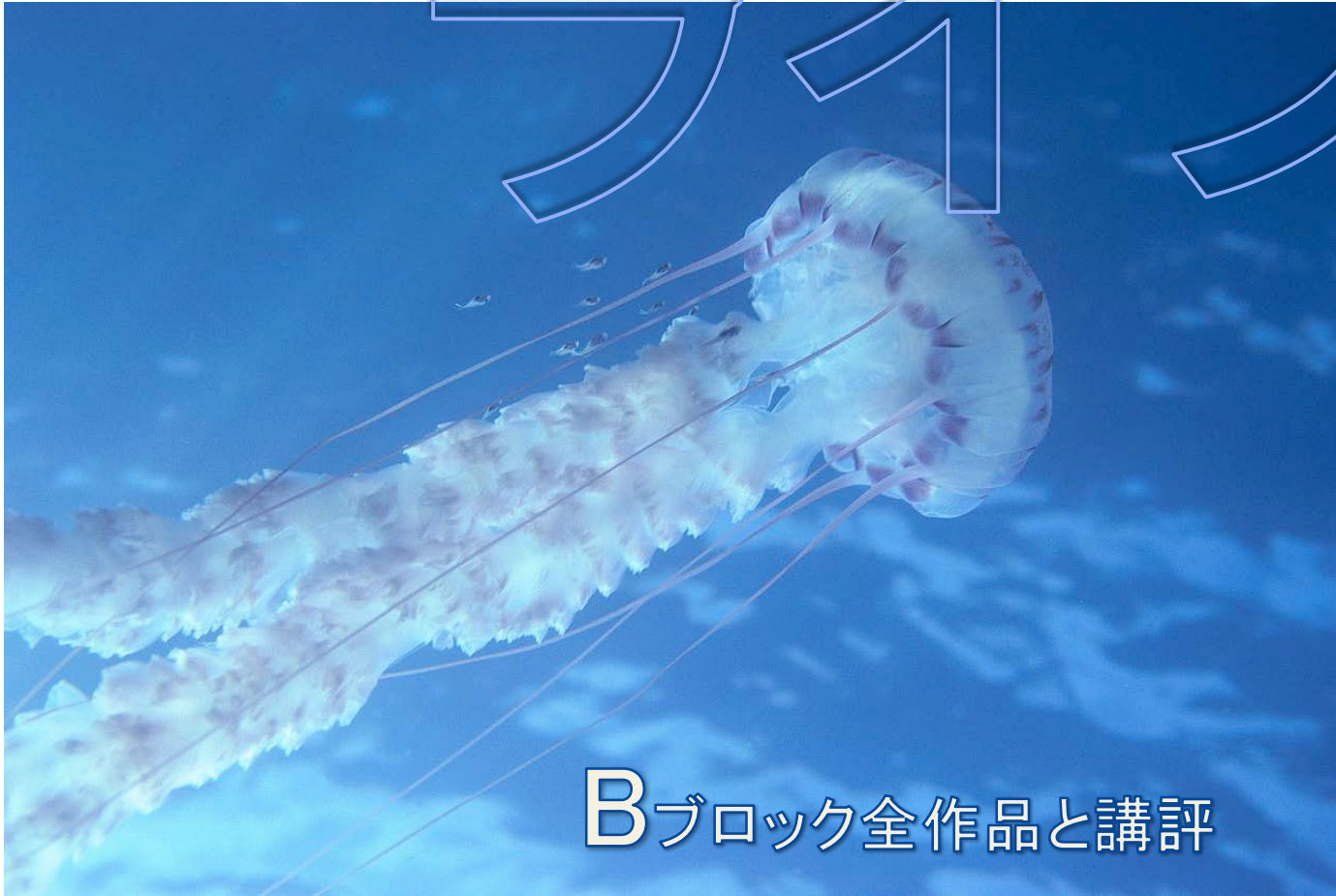


ライコ



Bブロック全作品と講評

www.columnland.net

毎朝7時に起きて

8時17分までに家を出る

満員電車はめんどくさい

学校へいっても増えるばかりのレポート

それが僕のライフ

でも学校へ行けば会える友達

一緒にいるととても楽しい

それが僕のライフ

この前、寝坊して授業にでられなかった

心ある僕の友達が代返してくれた

この前、風邪をひいた

親が看病してくれた

この前、財布をおとした

見知らぬ親切な人が交番に届けてくれた

気づいたら、僕はいろんな人に支えられていた

友達に

親に

あるいは会ったことのない人にさえも

そうか、一人で生きることなんてできない

それが僕の命

ライフ

ライフ

両手を目一杯に広げると、天井に向かって大きなあくびをくれてやる。徹夜明けの睡魔は今日も僕をうたた寝からは逃がしてはくれないようだ。窓越しに見上げた空は厚い雲に覆われ、月曜日の朝を灰色に包み込む。

居間の下ると、食卓にはいつもの食器にいつもの食事。いつものワイドショーのお天気キャスターがいつもの口調でしゃべっている。今日は大雨なのだそうだ。それを眺めながらパンを一切れ食べ終えると、支度をして家を出た。

駅まではそう遠くない。大通り沿いの歩道には通勤する人が行き交っている。道幅の広い幹線道路はこの時間帯にはまだ込まないらしく、大型のトラックやトレーラーが風を切るように通り過ぎていく。駅までの中間地点には保育園があり、通勤前の父親や、犬の散歩がてら子供を送る親もこの歩道を歩く。

すると小さな女の子が脇道からとぼと歩いて出てきた。どうやら彼女の兄妹の世話をする母親を置いて一人歩いてきたようだ。彼女は歩道脇のたんぼぼを見つけると、すぐさま駆け寄って行った。その瞬間、彼女は歩道から足を踏み外して車道の隅に転がった。三車線ある車道を大型車が猛スピードで並走しているのが見えた。母親は気づいていない。僕はすぐさま走り出した。予想より遙かに車の接近が早い。あと少し、もう少し。車体の下に伏せれば彼女は助かる。思い切って僕は飛び込んだ。

ドン

暑苦しい。身動きが取れない。全身に響く苦痛が僕を苛む……………すると安っぽい電子音と同時に、

「ゲームオーバーあなたの残りライフは0です」の文字が目の前に現れた。はっとして僕は上体を起こした。

(…ん、夢か…)

体中に安堵感が広がる。窓越しに外を見ると、灰色の空が広がっていた。汗にびっしょりと濡れた服を着替え、居間へ下りた。食卓にはいつもの食器にいつもの食事。いつものワイドショーのお天気キャスターがいつもの口調でしゃべっている。僕は急いで朝食を済ませ家を出た。朝の街を歩くひとびともいつもと一緒。僕はこの既視感に嫌な予感がした。大通り沿いを進むと、小さな女の子が脇道からとぼと歩いて出てきた。まさか、と思った。彼女は歩道脇のたんぼぼを見つけると、すぐさま駆け寄って行った。僕はもう直視できなかった。両手に握る汗。彼女はとうとう歩道から足を踏み外して車道の隅に転がってしまった。三台の大型車は夢で見たより速いスピードでこちらへやってくるように見える。僕は躊躇した。自分の死を想像すると、人はこれほど無力なのだろうか。僕は意を決して地面を蹴った。あと少し、もう少し。もう間に合わないかもしれない。それでも僕は、思い切って飛び込んだ。

I can

「ライフ」と何度も叫んでみましょう。

ライフライフライフライフライフライフライフライフライフ
ライフライフライフライフライフライフライフライフライフ
ライフライフライフライフライフライフライフライフライフ
ライフライフライフライフライフライフライフライフライフ
ライフライフライフライフライフライフライフライフライフ
ライフライフライフライフライフライフライフライフライフ
ライフライフライフライフライフライフライフライフライフ
ライフライフライフライフライフライフライフライフライフ
ライフライフライフライフライフライフライフライフライフ
ライフライフライフライフライフライフライフライフライフ

今「フライ」って言ったでしょう？

人間生きてりゃどこかで飛び立つものなんです。

Shining Life

風鈴がどんなに涼しげな音を出しても少しも暑さの抜けない夏まつただ中の朝のことだった。こんな陽気の中でも元気にバタバタと走ってくる音が聞こえたかと思うと、まだ小学校にもあがっていないとこ達が飛び込むようにして部屋に入ってきた。彼らは真新しい網と虫かごを持っていて、虫取りに行こうと言う。うだるような暑さの中外に出たくなかった私は何か別のことをしないかと提案したが、即却下された。結局引きずられるようにして彼らと近くの神社まで虫取りに行くことになった。

神社では蟬が大合唱していた。いとこ達は、やたらめったらに網を振り回しては思い思いに楽しんでた。私はそんな彼らのことを眺めながら藤棚の下の木陰で涼んでいた。

どれ位そうしていただろうか。年上の方のいとこが大きな声を出した。

「あそこのでっかいせみがいる！」

そんなお兄ちゃんの言葉に年下の方のいとこも勢いよく走っていった。

「ほんとだ！ねえ、あのせみつかまえで！」

幾度もそうせがまれ、私がいとこ達の見上げている大きな木の根元まで歩

いていくと、そこには確かに大きめな一匹の蟬がいた。羽が透明なその蟬は日の光を受けてキラキラと輝いていた。そろそろと網を近づけると、その蟬は思いのほか簡単に捕まった。

「強く掴んじゃだめだよ。」

そう言っただけにその蟬を手渡すと、彼らはそろそろとその蟬を覗き込んだ。彼らは目を細めていた。あたかも何かまぶしいものでも見ているかのよう……

（ああ、そうか。）私はその時とつさに彼らには私に見えていない何かが見えているのではないかと思った。一、二週間しかない命をそれでも精一杯生きようとする蟬の命の輝きが彼らの小さな目に映っているような気がしたのだ。（そういうえば、小さい頃はいろんなものが輝いて見えたっけ。）そう感じた瞬間、私の目にいとこ達の姿がまぶしく見えた。

今でも、私は時々あの夏の日のことを思い出す。あの輝きはただの幻覚だったのかもしれない。それでもその光景がいつまでも目に焼き付いて離れない。このことを思い出すたびにどこか切ない気持ちになるのはどうしてなのか、あれからずいぶん経った今も私には分からない。

なう

早く大人になりたかった小学生

今はそんなあの頃がうらやましい。

そして大人になりきった僕は

今を懐かしむのかなあ・・・

それなら

誰よりも今を楽しみたい

ライフワーク

(さて、今日あいつが来たらこの前買ったゴルフクラブセット自慢してやろう。あいつがどんな反応するか、楽しみだなあ。)

ピンポーン

「お、来た来た。どうぞー。」

「おじゃまします。いやあ暑いですね、課長。それで見せたいものって何ですか？」

「まあ慌てるな。そのクローゼットの中に入っているよ。その前に冷たい麦茶でもいかがかな。ちよつと待っていてくれたまえ。」

ボタン、テクテク

(課長に内緒で覗いちゃおうと。どれどれ。)

ガチャ

(…ん？ なんだこりゃ。女物の服にブラジャー、パンティ…。まさか課長の見せたいものって…。そう言えは最近やけに飲みに誘われるし…。もしや…俺は狙われ)

ガチャリ

「うわ！ 課長！ いや、これはその…」
(危ねえ、とつさに閉めてしまったが。)

「なんだ、見てしまったのか。自慢してやろうと思ったのに。それが俺のライフワークなんだ。どうだ、すごいだろう(キリッ)」

「はあ、ライフワーク…ですか。いや、何というか…よくわかりませんけど…」

「そうか、君にはまだ良さがわからないか。高かったんだぞ。全部で50万もしたんだ。」

「50万！ 何に使ってるんですか、そんな大金！」
「まあいいじゃないか、私の趣味なんだから。それにすべて私のサイズに合わせた特注品だぞ(キリッ)」

「特注つて。はあ、そんな店あるんですね。」

「そうそう、うちの家内と娘には内緒にしておいてくれよ。怒られてしまうからな。」

「いや、言えませんよー！」

「そうだ！ 今度の日曜日、久しぶりに一緒にやらないか？」

「ちよ、嫌です！ 絶対嫌です！ そもそも久しぶりって前やったみたいな言い方しないで下さいよ！」

「あれ、ああそうか、この前一緒にやったのは事務の鈴木君だったか。あいつ、嫌がるもんだから無理やりやらせたら意外とうまくてな。ははは。」

「鈴木…。と、とにかく僕は絶対にやりませんから！」

「そうか、青空の下でやるとすごく気持ちいいんだぞ。仕事の疲れも取れるし。スッキリするぞ。」

「いやいや！ 青空の下ってどこでやろうとしてるんですか！ すいませんが僕には無理です。お願いですから許してください。」

「おいおい、何を泣き出しているんだ君は。もういいよ、わかつた。じゃあ別の人を誘うから、君は私がやっているところを見ているだけでもいいぞ。」

「嫌ですよ！ 見てるだけって何ですか！ そもそも何で僕をそんなに誘」

ブルルル

「おや、家内から電話か。少し待っていてくれ。」

ガチャ、ボタン

「おう、何だ？ ふむ、模様替えしたから…クローゼットに陽子の服が…何だと！」

(まさか課長にこんな趣味が…。もう一度よく見てみるか、見間違いかもしれない。)

ガチャ ガチャリ ガチャリ

「…やっぱり服と下着しか」

「おい君！ そのクローゼットは」

「だいたいまー…キヤー！ 下着泥棒！」

「えっ、いやっ、これ課長のライフワークじゃ…。」

「ライフワークってお父さん、どういふこと！」

「陽子！ 違うんだ！ これには訳が！」

「……………課長、フリフリが好きなんですわ。」

もし人生が24時間だったら・・・

0:00 (0才) この世界に生まれる

0:18 (1才) 一人で歩けるようになる

1:48 (6才) 小学校に入学する

3:36 (12才) 中学校に入学する

4:30 (15才) 高校に入学する

5:24 (18才) 東京工業大学に入学する

6:00 (20才) 成人する

7:12 (24才) 就職して社会人になる

18:00 (60才) 仕事を退職する

24:00 (80才) この世界を去る

やっと一人前になったと思っていた今は、実はまだ夜明け前・・・

成人した頃に夜が明け、やっと一日が始まる。

日が暮れる前に仕事をやめて、夜まで思い思いに時間を過ごす。

これが人生のあるべき姿なのだろうか？

今はまだ夜明け前なのだから、
視界がはっきりしていなくてあたりまえ。

わたしは、あせらず、あわてず、生きていく。

まだ気づきませんか？

万物の霊長名高いあなた方の生命は

一本のゲージに支えられていることに・・・

自分で創って遊んでみよう

R P G

世界ツクール VXX

Life cycle

お前はもうすでに死んでいる。

お前は我らに目を付けられたら最後。

もう我らに乗っ取られる以外、

何もできないのだから。

我らはお前の巧妙なシステムを奪い取り、

お前は我らのクローンを増やし自己崩壊し続ける。

全世界は我らの元にひれ伏すことになるだろう!!

見ろ、細胞がまるで「ミ」のようだ!

「抗ウイルス薬投与」

いじが死から降つていなければ、

誰も抗ウイルス薬を信じはしなかったろう。

我らは滅びぬ、何度でもよみがえるさ。

Virus ver.

生命遊戯（ライフゲーム）

親愛なる妻へ

歩けないぐらい太ましくなってしまうあなたを養うのはもう疲れました。自分で食事をとれるくらいになったら、衣服を着替えられるようになったら、またお会いしましょう。

僕は自身の生命を守るためにあなたの元を離れます。それはそれは残酷なはなしかもしれませんが、僕はあなたのすべてを受け入れられませんでした。ここが僕の生命の境界線、自身の生活を守りうる限界と感じたのです。

追伸

腐るといけないと思い、冷蔵庫の中のもののは処分しておきました。あと、その状態で二週間生き延びられたら一千万円くれると友人が言っていました。だから頑張つてね。愛しているよ。

追伸の追伸

ちなみに、一ヶ月生き延びることができなかった場合、僕は大事なものを失ってしまふ。友人に奪われるであらう一千万円よりもずっとずっと大事な君を失ってしまふ。だからどうか死なないで、お互い元氣な姿でまた会いましょう。僕はずっとずっと応援しているよ。

あなたの夫より

イタリアの話

俺はなんの変哲もない毎日を過ごしていた
そんなある日の昼、俺はレストランで昼食をとることにした
何を食べようかとメニューをながめていると
面白いものが目にとまった

「イタリアンライフ」

何だこれは

これを頼んだら俺は毎日ピッツアの生活になってしまうのか？
少なくともトマト料理は増えるだろう
もしやトマト祭に参加しなければいけなくなってしまうのか？
違う！トマト祭はスペインだ！
いろんな想像をめぐらせながら、俺はイタリアンライフを頼んだ
店員はちょっと不思議そうな顔をした

八分後、店員が俺に持ってきたのは普通においしそうな料理
そこで俺は気付いた

いや、むしろ初めから気付いていたのかもしれない

「イタリアンライフ」のスの右下の棒がとれて

「イタリアンライフ」になっていただけのことに

「イタリアンライフ」を一粒も残さず食べきった俺は
もとのなんの変哲のない生活に戻っていった

でもなぜか少し生きる希望がわいてきた

人生は儚い。

この世に生まれた理由も知らず

自分に自我がなぜ芽生えたかもわからず

いつの日か夢を持ち

その夢を叶えようとする

いつの日か恋という感情をもち

人はまた生をもたらす

そして再びこの世に生まれた理由もわからず

夢の中のような人生を選ぶ

人生は所詮儚い夢物語。

Life is but a dream.

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
A01	(無題) 連鎖を止める	0 pt	11 位	0 sp
		自発的に止めるのか、はたまた強制終了させられてしまうのか。大きな違い。 短いフレーズに重たい意味をしっかりと乗せた今週の表紙でした。		
A02	最長寿国ニッポン	3 pt	7 位	0 sp
		なるほどなるほど。もてはやしてるけど、ほんとには根拠薄弱なのね、と納得。 ちょっと皮肉視線でした。 でも、信じて食べ続ければ、それが健康増進の秘訣なのかも。プラシーボ効果。		
A03	わたしたちの身勝手な感想	8 pt	3 位	0 sp
		はなから身勝手と宣言しての言い切りトークが、すばすばと潔い。 ありがちの善人ぶり結論でなく、でも違和感だけはこの際表明しときたい、という率直な「感想」がぐさりと刺さってきます。 そこがフロアに伝わってのブロンズ・メダルです、おめでとう!!		
A04	(無題) lifeて何だろう。	6 pt	4 位	1 sp
		考えて考えて、答えは出ない。ローになる。だから白紙。 そんな空白部分の思いがひしひし伝わってきました。 なんでも徹夜続きのロー状態だったそうな（お茶会での作者さん談）。若干、楽屋落ち疑惑はあるけれど、そんな正直さに◎。 特別賞：賞（白紙だから。） イチオシフレーズ：「だから白紙で出したかった」×2		
A05	命を不平等と嘆く者へ	2 pt	9 位	0 sp
		人のつくった社会ならば人の力で変えられるはずだよね。 誰へのメッセージなのか、対象をきっちりしぼったことで、するどさを獲得しています。		
A06	あるファミレスにて	0 pt	11 位	1 sp
		あ、凍った。 ちょっとした言い間違いが発生させた瞬間をぴしっと切り取ってインパクト大。 特別賞：軽いで賞（ライフという重いテーマの中、軽さが際立った） イチオシフレーズ：「ラ、ライフください」×2 「……………」		
		5 pt	5 位	0 sp

A07	(無題) 死んでみた	「死んでみた」の軽さにびっくり。 コミカルにして、ちっこいことでうじうじ悩むなよ、 というポジティブメッセージにも受け取れるさわやか さでした。 ただし、よいこはまねしないように!?
A08	Border of life	1 pt 10 位 1 sp
		忘れられなければ生きているのさ。 人の生死を社会性の中で捉えようという論点が説得的 に展開されています。 ラスト、一般論に流さずにもっと絞り込んでまとめる と、よりグレードアップするでしょう。がんばれ正統 派。 特別賞：ノーベル文学賞（教科書にのってても違和感 なさそう。）
A09	命売り	32 pt 1 位 0 sp
		絵本のページをめくるような。 良く練り込まれた構成で命の返品 3 パターン。こんな に少ない文字数で、背後にぎっしりとドラマ。そこが まさに絵本です。 二強対決を制し、堂々の壇上でしたね。こんぐらっ ちゅれいしょんず!! なみはずれた構成力と凝縮力に心 からの敬意を表します。次作にも期待しつつブラ ボー!!
A10	幸せなスクール ライフ	4 pt 6 位 6 sp
		水曜日時点まではリアルだった。金曜日の今日、すで に終わったできごとだとか。キーワードは「Kくん」 だとか（セッション中の作者さん談）。 そんな彼にエールを送る特別賞の嵐でした。おめでと う!? この作品の次にA11を並べたのは、もちろんTAさんの あたたか〜い心遣いです。 特別賞：リア充乙賞（まつりあげたかった） 一人相撲 で賞（ウザい） リア充爆発しま賞（東工大生にリア充 はいらない） 正直、超うざいで賞（実話ではない事を 望む） コラムを書かないでSkypeに集中しま賞 リア充 で賞（そのまんま） イチオシフレーズ：「正直、超幸せです！」× 2
A11	電話帳	3 pt 7 位 3 sp
		しあわせドラマ結末篇。 うん、まあそんなもんだよね。リアルって。 ラストの無機質メッセージが光ります。 特別賞：TAの配置力が光ったで賞（A-10からの流れ がよかった。） 残念賞（どんまい。） 残念賞（そん なこともあるよ!） イチオシフレーズ：「・・・おかけになった電話番 号は・・・」× 2
A12	My Life	26 pt 2 位 3 sp
		レイヤーのように1枚ずつ人生を重ねて。グラデー ション技の再現、印刷機くんもがんばりました。 各フレーズのインパクトがすごいです。黒龍波ネタで 笑いを誘ったり、定番・花嫁の父フレーズに泣いた り。シルバー・メダルとイチオシフレーズ大賞のダブル 受賞となりました。おめでとう!!

特別賞：構成賞（斬新だった） 幽遊白賞（熱い!!） 幽遊白賞（もとネタわかります！中二だから）
 イチオシフリーズ：「九九むずかしい」「炎殺…黒龍波！」×5

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
B01	ライフ	10 pt 支えられて生きている。とかく説教クサくなりがちのコンテンツを、ポエムでさらりと奏で、レイアウトもとてもキレイな今週の表紙でした。 特別賞：コディマ・ハッタヤ賞	4 位	1 sp
B02	オルタナティブ ライヴズ	11 pt 予知夢。 結末が分かっている、それでもあなたは飛び込むことができますか？ 問いかけてくるような迫力のスリリング展開です。やっぱりね、ストーリーのハラハラだけでなく、突きつけられてくるメッセージがなくては。 思いが伝わって、みごとブロンズ・メダルでした、おめでとう!!	3 位	0 sp
B03	I can	3 pt らいふらいふらいふ。選挙じゃないけど、連呼気分がうまく醸し出されて、ちょっと真似してみたいくなる。 ちゃんとオチも付いて、いいなごみポイントでした。そのオチがヒットして、今週のイチオシフリーズ大賞です。おめでとう！ 特別賞：賞もない（しょうもないから） 叫んだで賞（叫びまくってたから） イチオシフリーズ：「人間生きてりゃどこかで飛び立つものなんです」×4 「I can fly」「ライフ×たくさん」	7 位	2 sp
B04	Shining Life	10 pt 夏の日の一瞬の輝き。あざやかに切り取って、まさにシャイニング！ 実体験ベースでしょうか。ていねいな回顧談が、読者と一緒に体験させてもらっているような共感を誘います。また輝きの夏がめぐってきますね。	4 位	0 sp
B05	なう	1 pt タイトルが、よく効いてますね。 なんてことない中味なのだけれど、この「なう」なタイトルのおかげで、Twitter上での呟きかななどとシチュエーションへの親近感が湧き、ぐっと引き立ってきます。	9 位	0 sp
B06	ライフワーク	15 pt トンデモ勘違い。すれ違い会話が軽やかに続いて、ラストもお約束のドタバタ展開。作者さんが楽しんで書いている気持ちが伝わってくるグッジョブでした。 課長さんをとことん踏みつけにした甲斐あって、みごとにシルバー・メダル&最多特別賞のダブル受賞です、おめでとう!! 特別賞：パクリで賞（アン○ャッシュのコントをパクったという意見が……間違ってたらスマン） アンジャッシュ賞（それっぽいから。） テレビで見たことあるで賞（「ライフ」をよくここに結びつけたね。） 失賞（笑）（最後がいい） フリフリ賞（殿堂入り!! 1位にはしたく	2 位	5 sp

		ない！ HENTAI！） イチオシフレーズ：「課長フリフリが好きなんです ね」×2 「一緒にやらないか？」 「鈴木…」
B07	もし人生が24時間だったら・・・	28 pt 1 位 1 sp 今はまだ夜明け前。 単純なようでいて、なかなか深い換算法を、印象深いフレーズで彩って、好感度の高い仕上がりです。 特に派手な仕掛けも感動ストーリーもないけれど、「わたしは」としっかり自分自身を軸に据えた静かな決意表明のような語りが深い共感呼びました。 そう、伝える力って、文章を飾ることが巧みだったり、トークが流暢だったりすることとは違うところからも、しっかり発生するのです。作者さん自身がちょっとびっくりされてたような（お茶会での作者さん談）圧勝首位に輝いたのは、そんなパワーが働いたおかげじゃないかな、と思っています。 おめでとうゴールド・メダル!! 特別賞：yahoo知恵袋賞（囲み部分がベストアンサーです。20pt） イチオシフレーズ：「今はまだ夜明け前なのだから視界がはっきりしていなくてあたりまえ。」×2
B08	RPG 世界ツクール VXX	0 pt 11 位 0 sp この世をゲームに見立ててみると。 あー、人類のゲージ、どんどん減少中だよー、というメッセージだったのでしょうか。 硬軟対比させてみせた変化球のおもしろみでした。
B09	Life cycle Virus ver.	0 pt 11 位 3 sp わはは。細胞がゴミのようだ、ですかそうですか。 ムスカトークのウィルス君の勢いにはまりました。 しかし、徹頭徹尾ネタまみれなのですね。あっぱれというか。ポイントは残念ながら入らなかったけれど、特別賞で遊んでもらえました。 特別賞：ラピュタ賞（ネタがんばった）ムスカ賞（うまくセリフが使えてます（最初以外））世紀末救世主伝説/天空の城ラピュタ賞（パロディ） イチオシフレーズ：「我らは滅びぬ。何度でもよみがえるさ。」
B10	生命遊戯（ライフゲーム）	1 pt 9 位 1 sp 究極のダイエット作戦始動！と読んだのですが違うかな。 追伸を重ねるごとに夫の愛情がひしひしと伝わってきます。ただ、シチュエーションがちょっと分かりにくかったか。二週間と一ヶ月の違いはミス?? 特別賞：解説が欲しいで賞（よくわからないから。）
B11	イタリアの話	9 pt 6 位 2 sp 気分はイタリアン♪ ちょっとした日常のさざなみが、心に小さなうきうきを広げてくれる。 人生思ったほど悪くない。梅雨の晴れ間のような、すてきコラムでした。 特別賞：題名がサギで賞（内容はイタリアの話ではないので・・・。）ついてないで賞（ジャンケンで負けたため選外。スの「、」も付いてない） イチオシフレーズ：「何だこれはこれを頼んだら俺は毎日ピッツアの生活になってしまうのか？」 「トマト祭はスペインだ！」

		2 pt	8 位	0 sp
B12	Life is but a dream.	ゆるやかな左下がりのレイアウトが、ゆっくりと眠りに就くような。 儚い。夢。と同じ単語や文字を重ねることで、寄せる波のように、ある諦念が打ち寄せてきます。 雨の夜の静かな気分で、今週の読み納めでした。 イチオシフレーズ：「人生は所詮儚い夢物語」		